

がん疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会

～症例から適正使用を学ぶ～



申込フォーム
(Hiroshima)

主催：厚生労働省
(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

今年度も、医療用麻薬の適正使用によるWHO方式がん疼痛治療法の全国への均てん化とがん疼痛治療の更なる向上を目指し、医療関係者にWHO方式がん疼痛治療法に関する実践的な知識を習得していただくために、下記のとおり、ハイブリッド型講習会（会場参加+ライブ配信によるオンライン講習会）を開催いたします。事前にご登録いただき、多数の皆さまのご出席をいただきますよう、ご案内申し上げます。

記

1. 日 時：2024年12月21日（土） 午後3時～午後6時15分
2. 会 場：広島国際会議場 ダリア2 広島市中区中島町1-5 (平和記念公園内)
3. 内 容：コーディネーター 広島市立広島市民病院 緩和ケア科 部長 **岡部 智行 先生**

■ 講演① 「もっとうまくいく がん疼痛治療」
県立埼玉がんセンター 緩和ケア科 科長兼診療部長 **余宮 きのみ 先生**

■ 講演② 「緩和ケアにおける薬局薬剤師の役割 ～外来と在宅のかかわり～」
(株) フォーリーフ のぞみ薬局本店 地域支援課 課長 **浅野 陽子 先生**

■ 講演③ 「在宅緩和ケアにおける医療用麻薬使用の実際」
コールメディカルクリニック広島 **上杉 文彦 先生**

■ 講演④ 「医療用麻薬の適正管理について」
広島県健康福祉局薬務課麻薬グループ 主任 **福原 亜美 先生**

■ 質疑応答ディスカッション（総合討論）
コーディネーター、登壇者全員、櫻井梓/厚生労働省担当者

■ 本日のまとめ（コーディネーター）
広島市立広島市民病院 緩和ケア科 部長 **岡部 智行 先生**

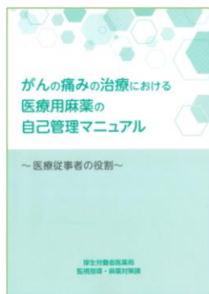
4. 対象者：医療関係者（会場：100名 オンライン：500名）
5. 参加費：無料 ※会場参加者には講習会テキスト（レジメ集）の他に、以下の資料を配布します。



医療用麻薬要覧R6年版



改訂医療用麻薬適正使用ガイドンス



がんの痛みの治療における医療用麻薬の自己管理マニュアル



がんの痛みの治療における医療用麻薬の自己管理マニュアル

6. 後 援（一社）広島県医師会、（公社）広島県薬剤師会

7. 協 賛：麻薬生産者協会

(救急薬品工業、協和キリン、塩野義製薬、第一三共プロファーマ、住友ファーマ、武田薬品工業、帝國製薬、テルモ、東和薬品、日本臓器製薬、久光製薬、藤本製薬、丸石製薬、ヤンセンファーマ、祐徳薬品工業)

8. 参加申し込み

公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センターのホームページ (<https://www.dapc.or.jp/2024no03/>) より、申し込みください。**2024年12月19日(木) 12時まで**受け付けています。



9. 会場参加における留意事項

- ① 開催2日前に「会場受付用メール」を送付しますので、そのメールに記載されたQRコードを講習会当日にプリントアウト又はスマホ等の表示画面を提示いただき、受け付けます。
- ② 日本薬剤師研修センターの研修受講単位の交付を希望される方は、薬剤師研修・認定電子システム(PECS)に登録後、各自の「薬剤師メニュー」の「QRコード」印刷を会場に持参、或いは表示画面で受付時と終了時の2回読み取りを行ってください。
- ③ 日本緩和医療薬学会の単位は、当日の受講履歴及び学会・会員番号等を確認の後、学会LMS事務局よりシステムに登録されます。

10. オンライン講習化の留意事項

- ① Web会議ツールとして、「Zoom」を使用します。
- ② 開催2日前に講習会参加用URLを記載したオンライン受付用メールを送付します。
- ③ 日本薬剤師研究センター研修受講単位の交付は、交付希望者ごとに当日の受講履歴を視聴ログで照合し、その後、受講確認用キーワードの確認を行った後「単位交付対象者リスト」に搭載し、当該リストを薬剤師研修センターに報告します。
- ④ 日本緩和医療薬学会の単位は、当日の受講履歴を視聴ログ等で照合した後、学会・会員番号等を確認の後、学会LMS事務局よりシステムに登録されます。

11. お問い合わせ先

公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター 松本/岩切 電話：03-5544-8436
[松本/matsumoto@dapc.or.jp](mailto:matsumoto@dapc.or.jp) [岩切/iwakiri@dapc.or.jp](mailto:iwakiri@dapc.or.jp)

以上